

21年目の葉山

村山市立葉山中学校
学校だより
第14号
令和6年11月8日

10月26日の「ハレルヤ」

校長 富塚 義幸

10月26日(土)、午前中『創立20周年記念式典・記念プロジェクト＝ブラスフェスタ』、午後から『第21回葉中祭』を開催しました。“ブラスフェスタ”“英語劇「アナと雪の女王」”“合唱コンクール”は、150名を超える保護者・地域の方々から参観いただきました。皆様の拍手が励みとなり、充実した時間を過ごすことができました。私は、記念式典オープニングと合唱コンクールの**全校合唱「ハレルヤ」**が特に印象に残っています。記念式典オープニングでは体育館東側からステージに向かっての合唱でしたが、合唱コンクールでは体育館西側からギャラリーに向かっての合唱でした。どちらも素晴らしいものでしたが、聴こえ方や感じ方の違いに驚くと同時に感動しました。音楽を含め芸術の奥深さを実感しました。この日まで練習を重ね素敵な時間を提供してくれた演者の皆さんの…世代を超えた吹奏楽の音色、アイデア満載の舞台、心を寄せ合い完成させたハーモニーに改めて感謝します「ありがとうございます」。学校への思いにあふれた、生徒会長：井澤千熙さんの記念式典でのあいさつの一部を紹介します。...

節目の年を迎えるにあたり、改めて校舎を見渡してみました。そこで気がついたのが、たくさんの樹木に囲まれて葉山中が建っているということです。皆さんは、校門を入ったすぐ横に、松の木があることを知っていますか。自転車小屋の近くの松です。あの松は、葉山中開校を記念して植樹したものだそうです。僕は、今日、改めて松の木を見上げてみました。「僕が生まれる前からここに在るのか」と思うと、心が静かに満たされました。約二十年もの間、葉山中で学ぶ生徒を見守っている松。「これからも大切にしていこう」と強く心に誓ったところです。また、学校の周りの桜も貴重なものが多いそうです。ギョイコウザクラやヨウコウザクラといった珍しい桜や一年に二度咲く桜があると聞きました。これまで関わってくださった方々の思いがこめられた樹木の数々。僕たちは、本当にありがたい環境で存分に学ばせていただいていることを実感しました。さて、21代目生徒会では、「向日葵～心ひとつに伸び行け未来へ～」のスローガンのもと、あいさつ・合唱・ボランティアの三本柱を軸に、様々な活動に励んでいます。なかでも「あいさつ」については、明るく元気なあいさつが響き合う学校になるよう、生徒会三役会と生活委員会が毎朝当番活動を行っています。また、「合唱」と言えば、**全校合唱「ハレルヤ」**です。先輩方も歌ってきた伝統の「ハレルヤ」。近頃では一年生も歌詞や音程を覚え、全校一丸となって誇りを胸に合唱をしています。そして三つ目の「ボランティア」。ボランティアを企画し、参加者を募ると、多くの生徒が参加します。「誰かのためにできることをしたい」という生徒が多いことが、葉山中生徒会の大きな財産だと言えます。そして、この式典が行われることを記念し、生徒会では、スローガンに合わせ、向日葵を植えました。松や桜ほどの歴史はないものの、僕たち生徒会のめざす姿を表すかのように、太陽の光をたっぷり浴び、同じ方向をむいて立派に成長しました。そして、僕たち21代目生徒会も、「向日葵」のスローガンのもと、伝統を引き継ぎながら、僕たちらしく新たな伝統を築くことができたと考えています。向日葵のように、一人一人が個性を生かして成長し、学年や学校全体で互いを認め合いながら成長してきました。 [代表：井澤千熙]

10月26日のスナップ写真 ～ 思い出の日 ～



令和6年度
第21回葉中祭
咲かせよ大輪の花 ～奏でるハーモニー 深める絆～

R6.10.26 Sat 村山県立葉山中学校

